

第4回 科学者委員会 ゲノム編集技術に関する分科会

議事概要

1. 日時：平成 31 年 4 月 19 日（金）10:00～12:00
2. 場所：日本学術会議 6 階 6-A（2）会議室
3. 出席者：武田委員長、高山副委員長、阿久津幹事、
大杉委員、島菌委員、名越委員、松本委員（ビデオ）

参考人：加藤和人

その他：福井（上席学術調査員）

（敬称略・五十音順）

4. 配布資料：

資料 1 前回議事要旨（案）

資料 2 関係する分科会からの報告 関係資料

資料 3 政府・行政サイドでの検討状況 関係資料

参考・ゲノム編集技術に関する分科会委員名簿

5. 議事：

(1) 前回議事要旨（案）について

- ・前回の議事要旨について、事前確認は終了しているが、追加の意見があれば事務局へ連絡することとされた。

(2) 前回からの動き

- ・前回分科会からの動きについて、武田委員長より報告があった。
 - ・米国 NAS、米国 NAM、イギリス王立協会が各国アカデミーに参加を呼びかけた Human Germline Genome Editing 会議への日本学術会議からの代表者派遣者が決定した。会長の依頼を受けて、二部幹事メンバー、ゲノム編集分科会執行部（委員長、副委員長、幹事）で相談の上、阿久津委員（ゲノム編集分科会幹事）、加藤氏（大阪大学）を推薦した。
 - ・上記事項に伴い、加藤氏をゲノム編集分科会の委員とすべく、特任連携会員として幹事会へ推薦の手続きを行った。
 - ・4 月 19 日早朝に Human Germline Genome Editing 会議の the draft statement of work for the commission が阿久津委員に届いているので、精査の上、後日会員へ情報提供する。

(3) 関係する分科会からの報告

- ・いのちと心を考える分科会（島菌委員）、遺伝子組換え作物分科会（大杉委員）からそれぞれ報告があった。

(4) 政府・行政サイドでの検討状況

- ・文部科学省前澤室長より、主に CSTI（生命倫理専門調査会、「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」TF）での検討状況について配布資料を用いて説明があった。ゲノム編集分科会へは以下の 2 点の要請があった。
 - ・CSTI で検討している課題について、専門的な観点からの意見。
 - ・学術会議主催の公開シンポジウム開催時の CSTI との連携。

(5) 今後の進め方について

- ・ CSTI の要請に対して、ゲノム編集分科会として対応していく。

「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に係る 論点整理について、分科会の委員から意見を聴取する。

特に法規制については急ぎ検討する。法学が専門である副委員長の高山委員が中心となって執行部で早めに法規制に関する論点・意見を整理し、その後分科会で審議する。

- ・ 公開シンポジウムを企画する。シンポジウムは、いのちと心の分科会、CSTI と連携する。シンポジウム実施案は執行部で用意し委員会に諮る。
- ・ 国際会議、国際連携は今後もゲノム編集分科会で対応する。

(6)その他

- ・ 日本学術会議の予算状況により、分科会は原則年 1 回の開催となっている。今後はメール審議を中心に分科会を運営する。
- ・ 次回の開催は未定。

以上